鳥取空港

【実施主体：個社】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
		次年度の保安検査契約条件の設定	契約先との意見交換を実施。次年度の契約料金の引き上げを申し入れている。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	熱中症対策	熱中症対策として各警備員にドリンクを支給している。	
		新たな勤務シフト導入	スタッフが希望する曜日や時間で対応できるよう、新たな勤務シフトを導入し、勤務環境の改善を図っている。	
		処遇改善	検査員の給与を1～10％をアップした。 早朝勤務者に対する「特殊勤務手当」を新設し、7時以前の勤務開始者に支給を開始した。	
		休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入	感染症予防および休憩室をより良い環境にするのため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制			
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）　等）	離職者防止の取組	離職者を防止し定着率を上げるため、各職員に対してメンターによる面談を定期的に行っている。	

【実施主体：個社】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用） 等）	国際線再開を見越した採用	国際線の就航などに対応するため、通年でグラハン・旅客スタッフの採用を強化している。	
		国際線再開に向けた職員の採用	国内定期便の他、国際線再開で必要となるスタッフを確保するため、グラハン及び旅客の職員を追加で採用している。	
		採用コンサルタントの活用	採用コンサルタントによるアドバイスのもと、有効的かつ計画的な採用活動を行っている。	
		継続的な採用活動	職員の退職があるが、都度求人募集をかけ必要な人員を確保している。	
		職員の採用・育成	空港求人ページから3名を採用している。現在は別現場で経験を積んでおり、警備員の増員が必要な場合はスタッフの派遣ができるよう努めている。	
		継続的な採用活動	業務に必要な人員を維持するため、継続的に採用活動を実施している。	
		入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	
		年に1度の空港フェスタのイベントとしてグランドハンドリング職場体験	空港業務を紹介し、職場を体験することで、当人とその周囲の方たちへの就業意欲を喚起する。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	職員の早期育成体制の構築	スタッフが責任者になるまでに必要な育成時間を早期に完了できるような体制を構築している。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	他空港からの警備員応援体制の構築	国際線就航時などで職員数が不足する場合は他空港からの同社警備員に応援を要請する。	
		パートスタッフの勤務形態変更	国際線就航時の清掃業務に対応するため、半日勤務のパートスタッフを全日勤務に変更し対応する予定。	

【実施主体：個社】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備			
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	同業他社間において、共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体：空港会社等】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港内の労働環境の改善	情報共有	空港WGに情報共有し、空港業務の持続的発展に努めている。	
		就業規則の改定	子育て世代を意識した育児休暇、看護休暇、時短制度の充実・拡大。（無給→有給、3歳未満→未就学児等）	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動（空港短期の合同ツ説明会　等）	空港HP求人ページを作成、公開	空港HPに空港事業所専用の求人ページを作成し、公開。	
		年に1度の空港内ツアーを実施	小学生向けにツアーを提供。滑走路見学、消防車見学、空港業務の紹介で、空港・空港業務を身近に感じてもらい就業意欲を喚起。	第一回目R4が好評で定例イベントとして定着。以降毎年70-80名が参加。
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進	鳥取空港WGを設置	鳥取空港WGにおいてグラハンに係る必要な取組を意見交換し、次の取組について地方空港等受入環境整備事業費補助金を活用して実施した（補助金の応募は鳥取空港ビル（株））。 【人材確保に係る取組】 ①鳥取空港HPに空港職員の求人ページを開設 ②①のweb広告掲載 ③地元新聞に求人情報を掲載 ④リクナビ・マイナビに求人情報を掲載 【業務効率化に係る取組】 スマートグラス（遠隔支援）を導入済 レルクリア（外国語翻訳ツール）を導入済	＜空港職員の採用状況＞ ■鳥取空港ビル 9名を正式採用（令和5年4月1日付で3名、同年5月1日付で2名、同年7月1日付で3名、同年9月1日付で1名採用）。 ■航空関連（グランドスタッフ） 令和5年4月1日に8名の新卒採用。 ■空港管理（消防） 10件の応募があり、5件面接を実施。 令和5年4月1日付で1名採用。
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備　等）			

【実施主体：空港会社等】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入	空港DX推進のプロジェクト活動	【業務効率化】 ICTツールを利用したデータ・情報の活用による業務効率化	
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体：地方自治体】

鳥取空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化（人員体制等の正確な現状把握　等）	情報共有	鳥取空港WGの構成メンバーを中心に、国の取組状況やグラハン関係の補助金に係る情報を関係機関と共有している。	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	空のお仕事「職場体験」	航空会社および代理店と連携し、小学生に空港業務を解説し、見学や実際に体験してもらうことで、将来目指す職業・仕事として意識させる。	子育て支援取り組みの一環
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局（観光、産業振興　等）と連携した支援の実施			
【短期】	空港WGの活用推進	鳥取空港WGを設置	・必要に応じて随時開催できる体制を構築している。 ・直近では令和5年1月23日に開催した。	
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援　等）			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致（交通部局と観光部局との緊密な連携）	航空会社への新規路線開拓の働きかけ	・定期的な訪問による、関係構築。 ・県内空港のPR及び路線誘致。	
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			